

2026年3月期

決算補足説明資料

2026年 5月 14日

三櫻工業株式会社

(証券コード：6584 東証プライム)

- 2026年3月期 連結損益状況
- 2026年3月期 セグメント別実績
- 2026年3月期 営業外及び特別損益等
- 2026年3月期 営業利益分析
- 2026年3月期 連結財務状況：対前期末
- 2026年3月期 連結キャッシュ・フローの状況
- 2027年3月期 連結業績予想
- 参考情報：セグメント別四半期業績推移

2026年3月期 連結損益状況



	2025年3月期 実績		2026年3月期 実績				2026年3月期 通期予想 (2025年5月12日発表)	
	金額 (百万円)	売上高比 (%)	金額 (百万円)	売上高比 (%)	対前期		金額 (百万円)	達成率 (%)
					増減額 (百万円)	増減率 (%)		
売上高	159,538	100.0	159,387	100.0	▲151	▲0.1	147,000	108.4
営業利益	4,860	+3.0	4,073	+2.6	▲787	▲16.2	5,500	74.1
経常利益	4,600	+2.9	3,038	+1.9	▲1,562	▲34.0	4,000	75.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	737	+0.5	1,524	+1.0	+787	+106.9	1,800	84.7

● 2026年3月期 業績概要（対前期）

- ▶ 売上高: 日本で新規立上により販売は増加したが、欧州・中国での販売不振、北南米での円高による為替換算差影響により減収。
- ▶ 営業利益: 北南米で米国関税措置の影響、輸入トラブル費用、新規立上のコストの増加等の要因が、日本での新規立上、欧州や中国での人員削減、ドイツ工場の閉鎖による収益改善効果を圧迫し▲787百万円の減益。
- ▶ 経常利益: 営業利益の減少に加え、為替差損の発生により▲1,562百万円減益。
- ▶ 純利益: 中国子会社の清算損失(▲1,268百万円)、ドイツ子会社人員整理に伴う特別退職金(▲1,283百万円)が発生するも、メキシコ子会社の買収に伴う負ののれん発生益(+2,554百万円)を計上し+787百万円の増益。

● 為替レート

損益換算レート (単位:円)	2025年3月期 平均レート	2026年3月期 平均レート	変動率
ドル	151.6	149.7	▲1%
ユーロ	163.9	169.0	+3%
メキシコペソ	8.3	7.8	▲6%
人民元	21.0	20.8	▲1%
インドルピー	1.8	1.7	▲6%
タイバーツ	4.3	4.6	+6%
ロシアルーブル	1.6	1.8	+10%
ブラジルリアル	28.3	26.8	▲5%

2026年3月期 セグメント別実績

	売上高			営業利益		
	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	対前期増減	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	対前期増減
	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)	実績 (百万円)
日本	48,020	51,885	+3,865	1,014	2,053	+1,039
北南米	67,306	67,822	+515	1,744	▲327	▲2,071
欧州	22,267	19,996	▲2,271	▲118	280	+398
中国	14,358	12,481	▲1,877	▲963	▲348	+615
アジア	29,601	29,763	+162	2,847	2,599	▲248
連結調整	▲22,014	▲22,559	▲545	335	▲184	▲519
合計	159,538	159,387	▲151	4,860	4,073	▲787

● 2026年3月期 地域別業績のトピックス（対前期）

日本
【増収・増益】

売上高は、新規立上の設備販売と部品販売に伴い増収。
営業利益は、メキシコ子会社買収費用、設備投資による償却費の増加はあるも、増収により大幅増益。

北南米
【増収・営業損失】

売上高は、北米における日系取引先で安定した販売を維持し、またメキシコ子会社の新規連結により増収。
営業利益は、米国関税措置の影響、輸入トラブル費用の計上、新規立上等のコスト増加により収益性が悪化し減益。

欧州
【減収・増益】

売上高は、欧州系取引先の販売不振により減収。
営業利益は、前期からの人員整理による人件費削減、ドイツ1工場閉鎖に伴い改善傾向。

中国
【減収・営業損失】

売上高は、日系取引先の販売不振が継続し、減収。
営業利益は、前期からの人員整理による人件費削減、前期に計上した固定資産減損に伴う償却費減により、営業損失となるも赤字幅は縮小。

アジア
【増収・減益】

売上高は、安定した稼働状況により前年同期水準。
営業利益は、生産数量変動に対しコストをコントロールしたが、人件費の増加により減益。

2026年3月期 営業外及び特別損益等

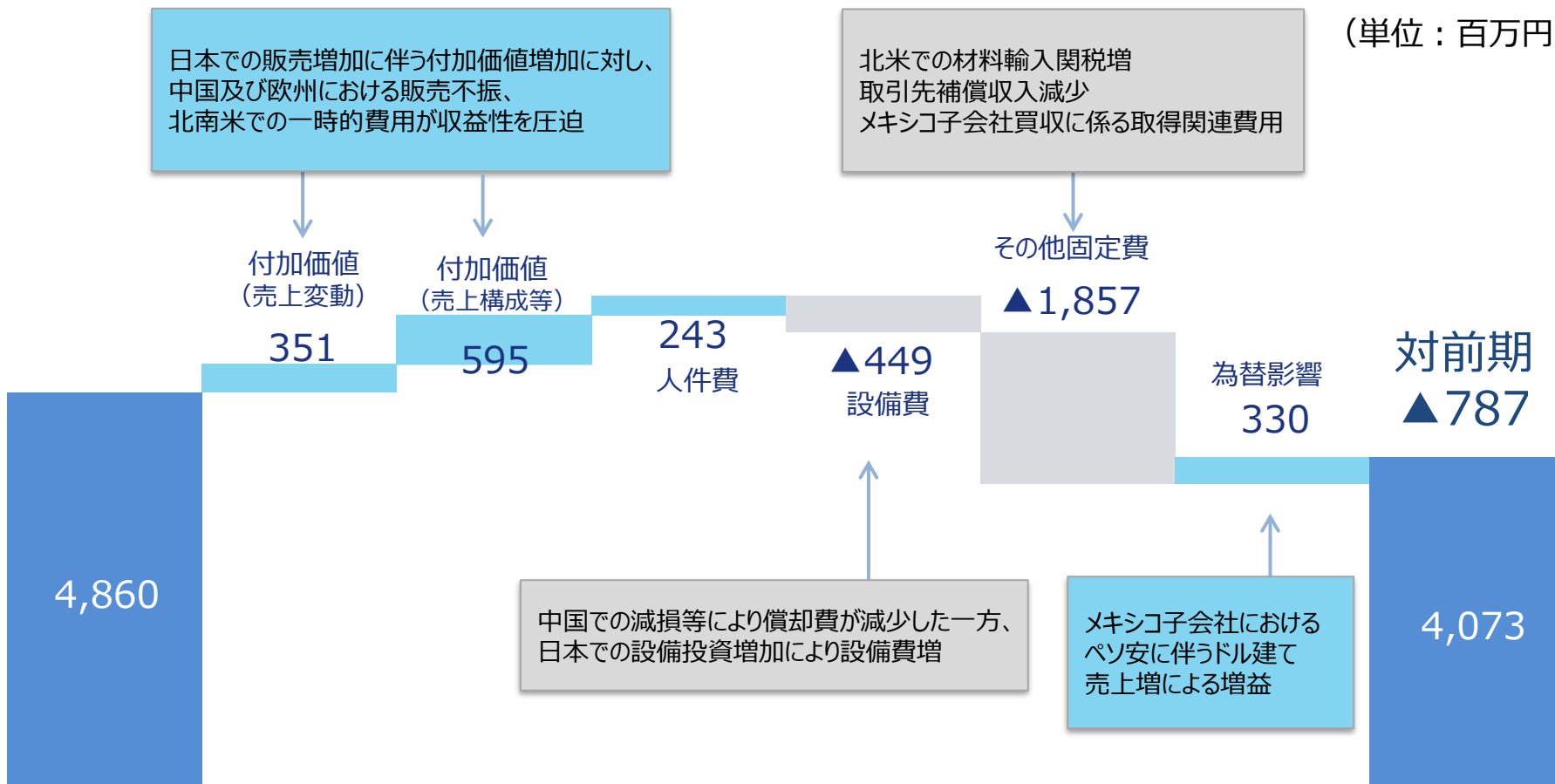
(増減額の符号は対利益符号)

連 結		2025年3月期 実績	2026年3月期 実績		主な増減要因 (金額は百万円)		
			金額 (百万円)	金額 (百万円)		対前期	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)
営業利益		4,860	4,073	▲ 787	▲ 16.2		
営業外 損益	営業外収益	1,177	676	▲ 501		受取配当金 ▲69 為替差益 ▲238	
	営業外費用	1,438	1,711	▲ 274		為替差損 ▲265	
経常利益		4,600	3,038	▲ 1,562	▲ 34.0		
特別利益		1,583	2,593	+ 1,010		負ののれん発生益 +2,554 投資有価証券売却益 ▲1,571	
特別損失		3,486	3,584	▲ 97		関係会社整理損失引当金繰入額 ▲947 特別退職金 ▲303 損害賠償損失引当金繰入額 +364 減損損失 +624	
税引前当期純利益		2,696	2,047	▲ 648	▲ 24.1		
法人税等		1,306	▲ 113	+ 1,418			
非支配株主利益		653	636	+ 18			
親会社株主に帰属する 当期純利益		737	1,524	+ 787	+ 106.9		

2026年3月期 営業利益分析

日本での販売増加や欧州・中国での人件費削減、ドイツでの工場閉鎖による固定費削減が寄与したものの、北南米での異常費用や米国輸入関税の影響により収益性が悪化し、減益となる。

(単位：百万円)



2025年3月期
実績

2026年3月期
実績

注：付加価値（売上変動）＝ 連結全体の売上増減（為替補正後） × 前年同期付加価値率（為替補正後）

2026年3月期 連結財務状況：対前期末

連 結		2025年3月期末		2026年3月期末			
		実績 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	対前期末増減額 (百万円)	主な増減要因 (百万円)
資 産	流動資産	70,348	60.1	83,377	58.7	+ 13,029	総資産： +24,791 増加 ① 現金及び預金 +1,827 ② 営業債権 +1,546 ③ 棚卸資産 +5,529 ④ 流動資産その他 +4,126 ⑤ 有形固定資産 +8,636 ⑥ 投資有価証券 +1,169 ⑦ 繰延税金資産 +1,830
	固定資産	46,790	39.9	58,553	41.3	+ 11,763	
	資産合計	117,138	100.0	141,929	100.0	+ 24,791	
負 債	流動負債	41,878	35.8	52,982	37.3	+ 11,104	負債総額： +20,910 増加 ⑧ 短期借入金 +7,877 ⑨ 流動負債(その他) +1,031 ⑩ 長期借入金 +7,762 ⑪ リース債務 +2,027
	固定負債	27,173	23.2	36,979	26.1	+ 9,806	
	負債合計	69,051	58.9	89,961	63.4	+ 20,910	
	純資産合計	48,087	41.1	51,968	36.6	+ 3,881	
負債純資産合計		117,138	100.0	141,929	100.0	+ 24,791	純資産： +3,881 増加 ⑫ 利益剰余金 +505 ⑬ その他有価証券評価差額金 +659 ⑭ 為替換算調整勘定 +1,872 ⑮ 退職給付に係る調整累計額 +695

(注1) D/Eレシオ…前期末 0.90 → 当期末 1.19

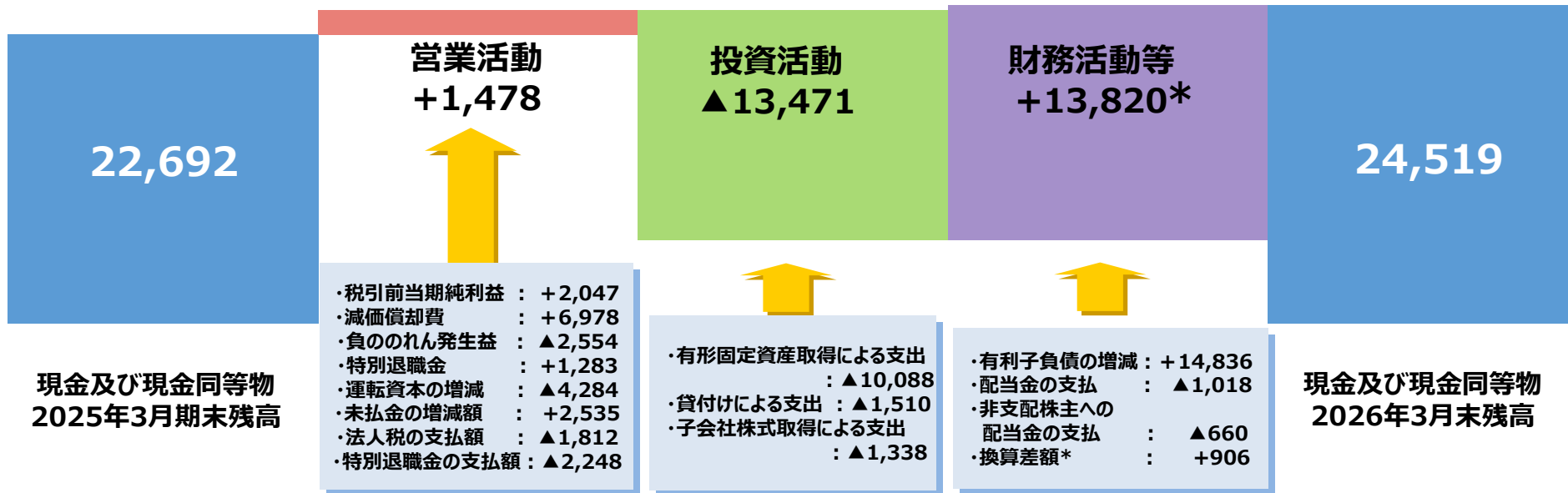
(注2) 自己資本比率…前期末 37.8 → 当期末 33.8

	前期末	当期末
①有利子負債	39,674	57,219
②自己資本	44,272	48,003
①/②	0.90	1.19

2026年3月期 連結キャッシュ・フローの状況

● 2026年3月期 連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



* 現金及び現金同等物に係る換算差額 (+906百万円) を財務活動に含めております。

● 設備投資/減価償却の状況

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	
		実績	対前期
設備投資額	9,435	10,088	+653
減価償却費	6,769	6,978	+209

2027年3月期 通期業績予想

連結	2026年3月期実績		2027年3月期業績予想	
	通期 (百万円)	通期 (百万円)	対前期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	159,387	167,000	+7,613	+4.8%
営業利益 【営業利益率】	4,073 +2.6%	5,500 +3.3%	+1,427	+35.0%
経常利益 【経常利益率】	3,038 +1.9%	3,500 +2.1%	+462	+15.2%
当期純利益 【当期純利益率】	1,524 +1.0%	1,500 +0.9%	▲24	▲1.6%
一株あたり純利益 (円)	42.57	41.89	▲0.68	—
配当 (円)	28.0	—	—	—

(注) 2027年3月期の配当予想額につきましては、現時点では未定としております。配当予想の開示が可能となった段階で公表いたします。

通期業績予想の為替前提

為替レート	2026年3月期実績		2027年3月期業績予想	
	通期レート (円)	通期レート (円)	対前期	
			増減額 (円)	増減率 (%)
米ドル	149.7	150.0	0.3	+0.2%
ユーロ	169.0	180.0	11.0	+6.5%

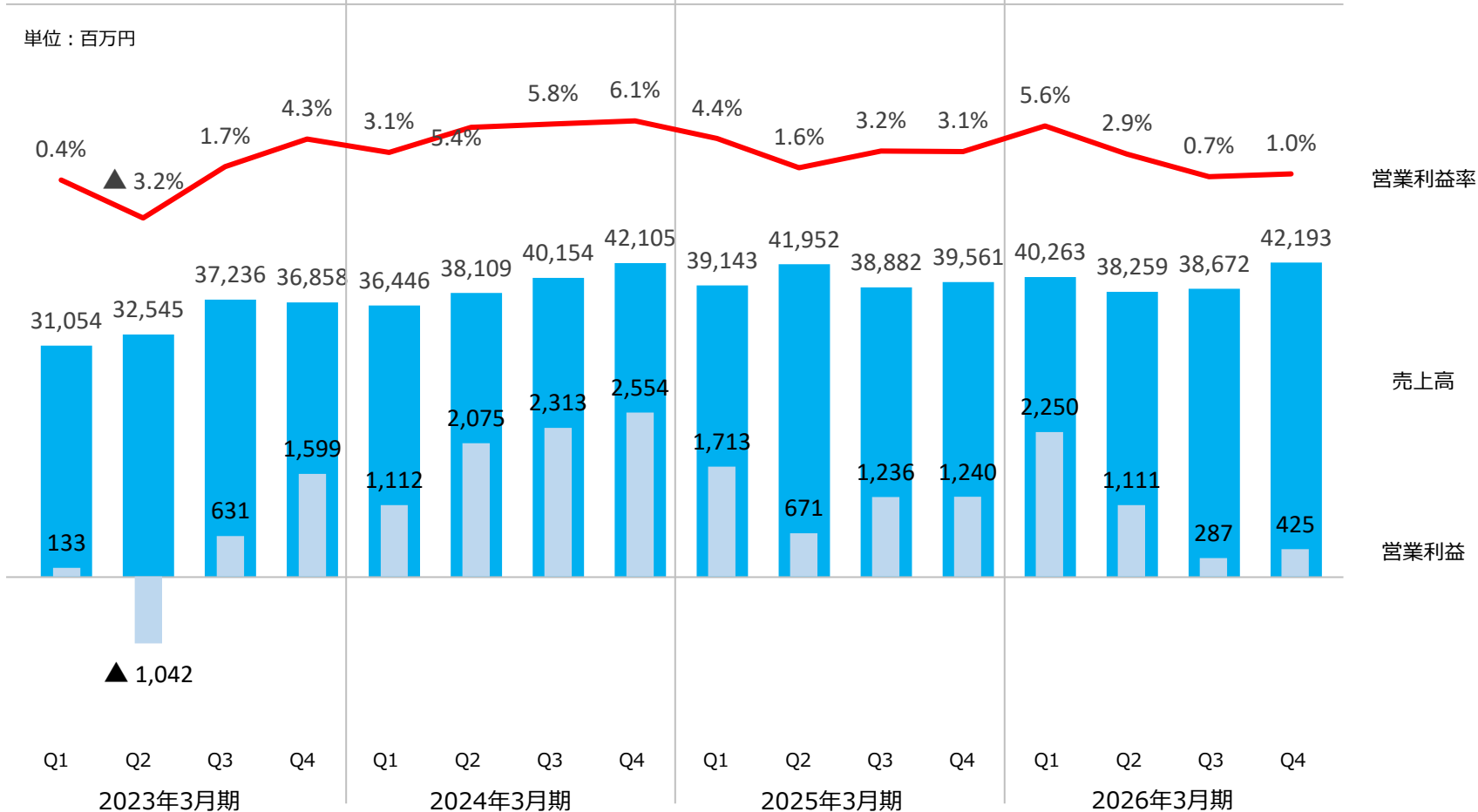
■ 参考情報：セグメント別四半期業績推移

セグメント別四半期業績推移

<連結>



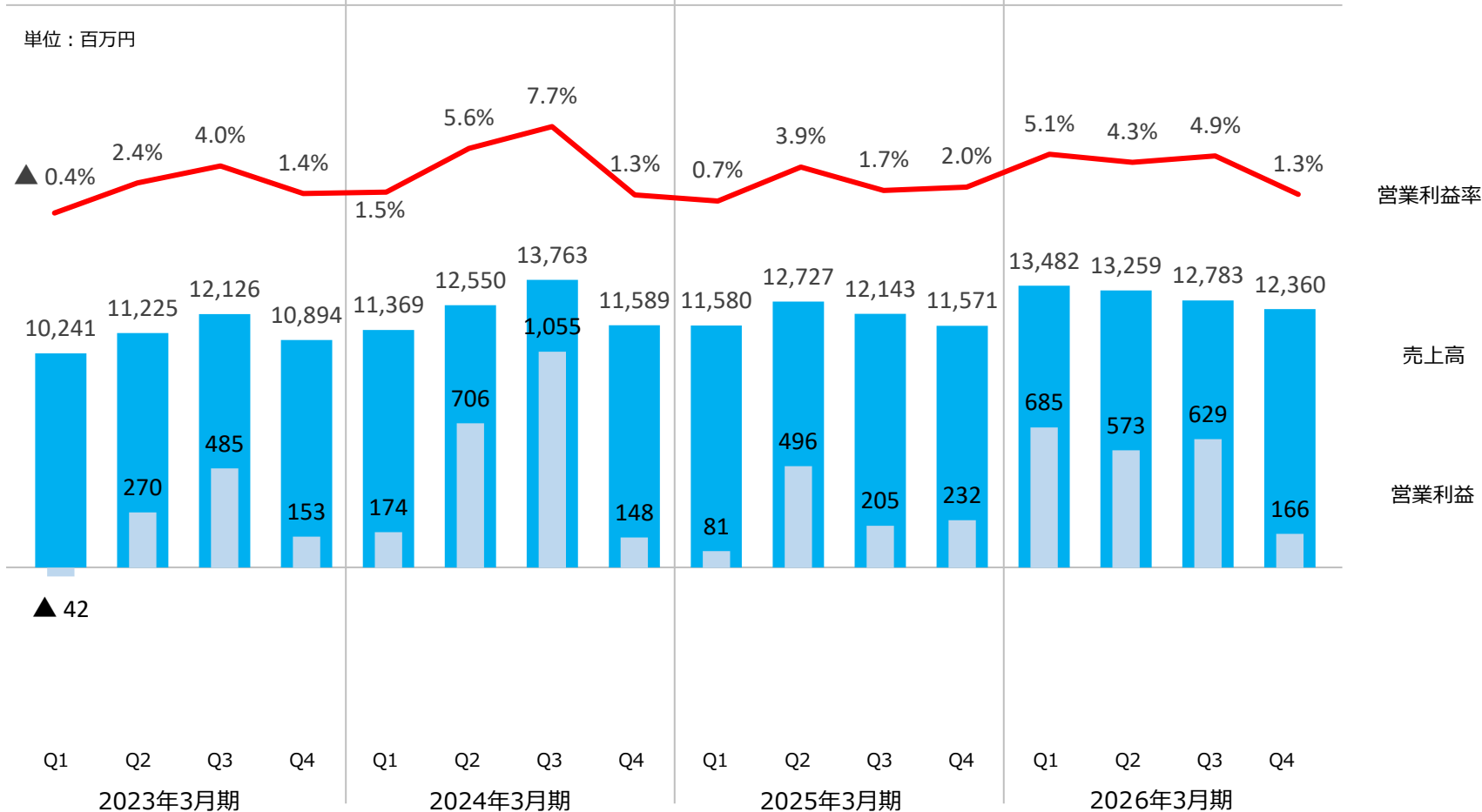
売上高	137,692百万円	売上高	156,814百万円	売上高	159,538百万円	売上高	159,387百万円
営業利益	1,321百万円	営業利益	8,053百万円	営業利益	4,860百万円	営業利益	4,073百万円
営業利益率	1.0%	営業利益率	5.1%	営業利益率	3.0%	営業利益率	2.6%
為替 (円/USD)	131.4円	為替 (円/USD)	140.6円	為替 (円/USD)	151.6円	為替 (円/USD)	149.7円



セグメント別四半期業績推移 <日本>



売上高	44,485百万円	売上高	49,271百万円	売上高	48,020百万円	売上高	51,885百万円
営業利益	865百万円	営業利益	2,083百万円	営業利益	1,014百万円	営業利益	2,053百万円
営業利益率	1.9%	営業利益率	4.2%	営業利益率	2.1%	営業利益率	4.0%
為替 (円/USD)	131.4円	為替 (円/USD)	140.6円	為替 (円/USD)	151.6円	為替 (円/USD)	149.7円

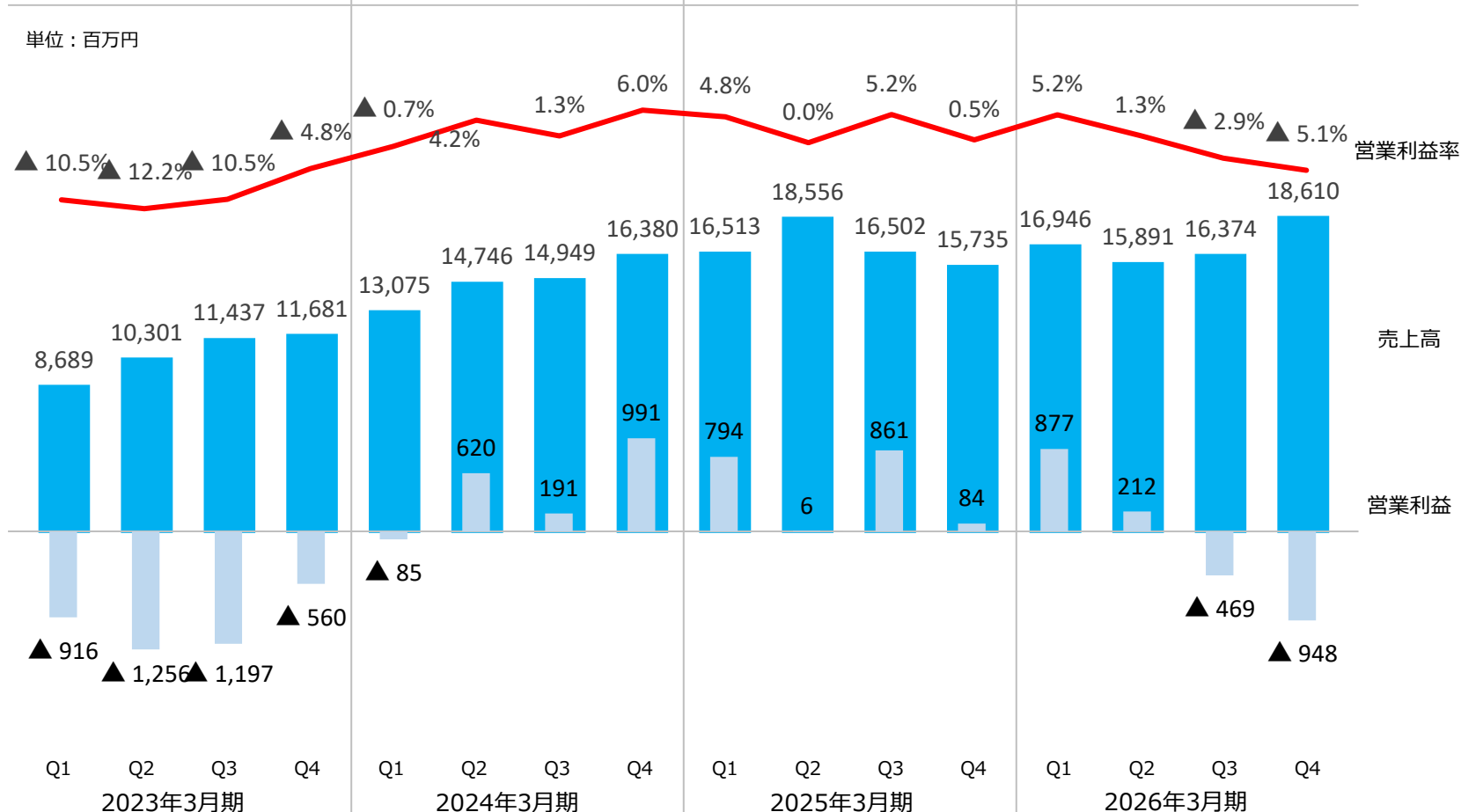


セグメント別四半期業績推移

<北南米>



売上高	42,107百万円	売上高	59,150百万円	売上高	67,306百万円	売上高	67,822百万円
営業利益	▲3,928百万円	営業利益	1,717百万円	営業利益	1,744百万円	営業利益	▲327百万円
営業利益率	▲9.3%	営業利益率	2.9%	営業利益率	2.6%	営業利益率	▲0.5%
為替 (円/USD)	131.4円	為替 (円/USD)	140.6円	為替 (円/USD)	151.6円	為替 (円/USD)	149.7円



※2024年3月期より、欧州セグメントに含まれていたGeiger USAを北南米セグメントに変更しています。

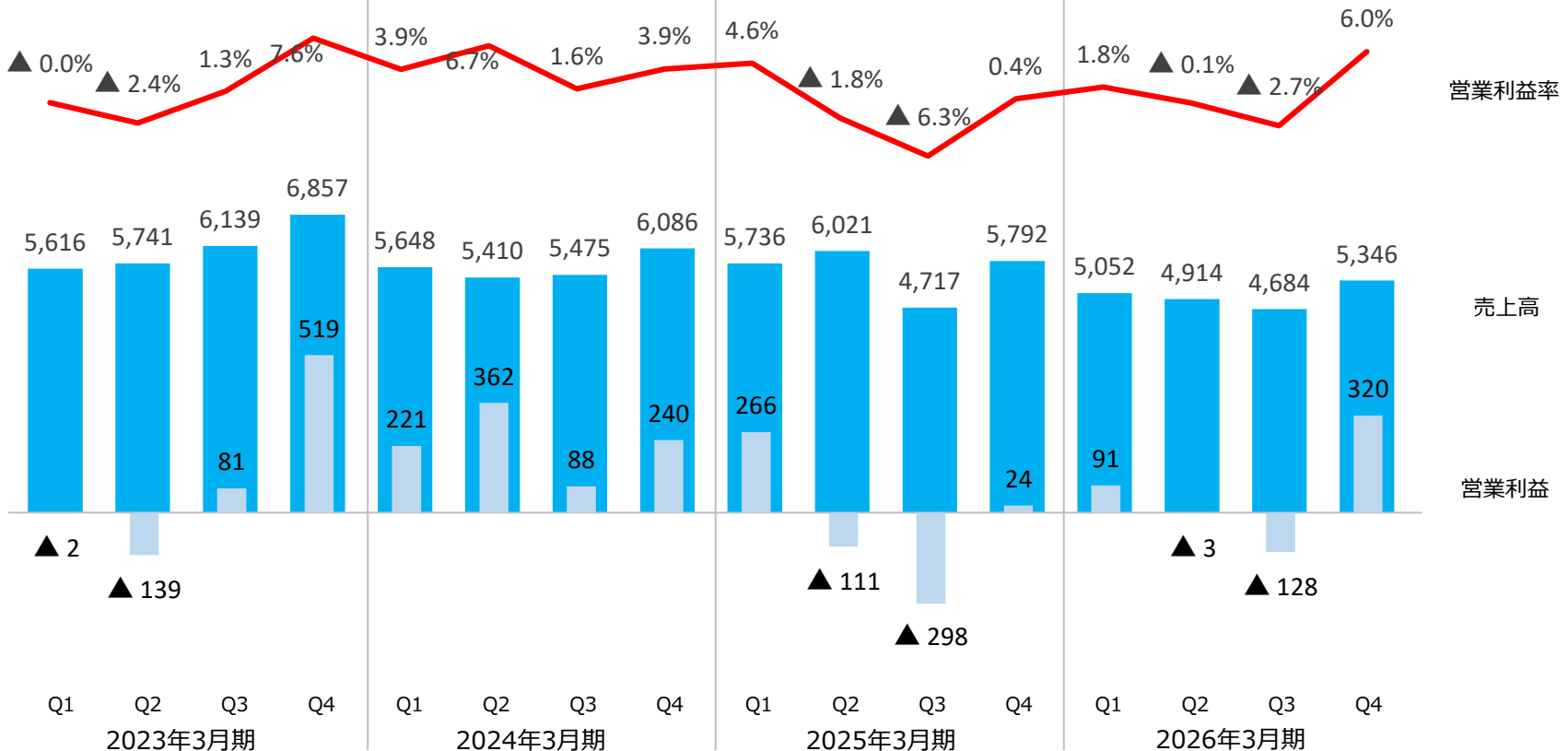
セグメント別四半期業績推移

<欧州>



売上高	24,353百万円	売上高	22,619百万円	売上高	22,267百万円	売上高	19,996百万円
営業利益	460百万円	営業利益	911百万円	営業利益	▲118百万円	営業利益	280百万円
営業利益率	1.9%	営業利益率	4.0%	営業利益率	▲0.5%	営業利益率	1.4%

単位：百万円



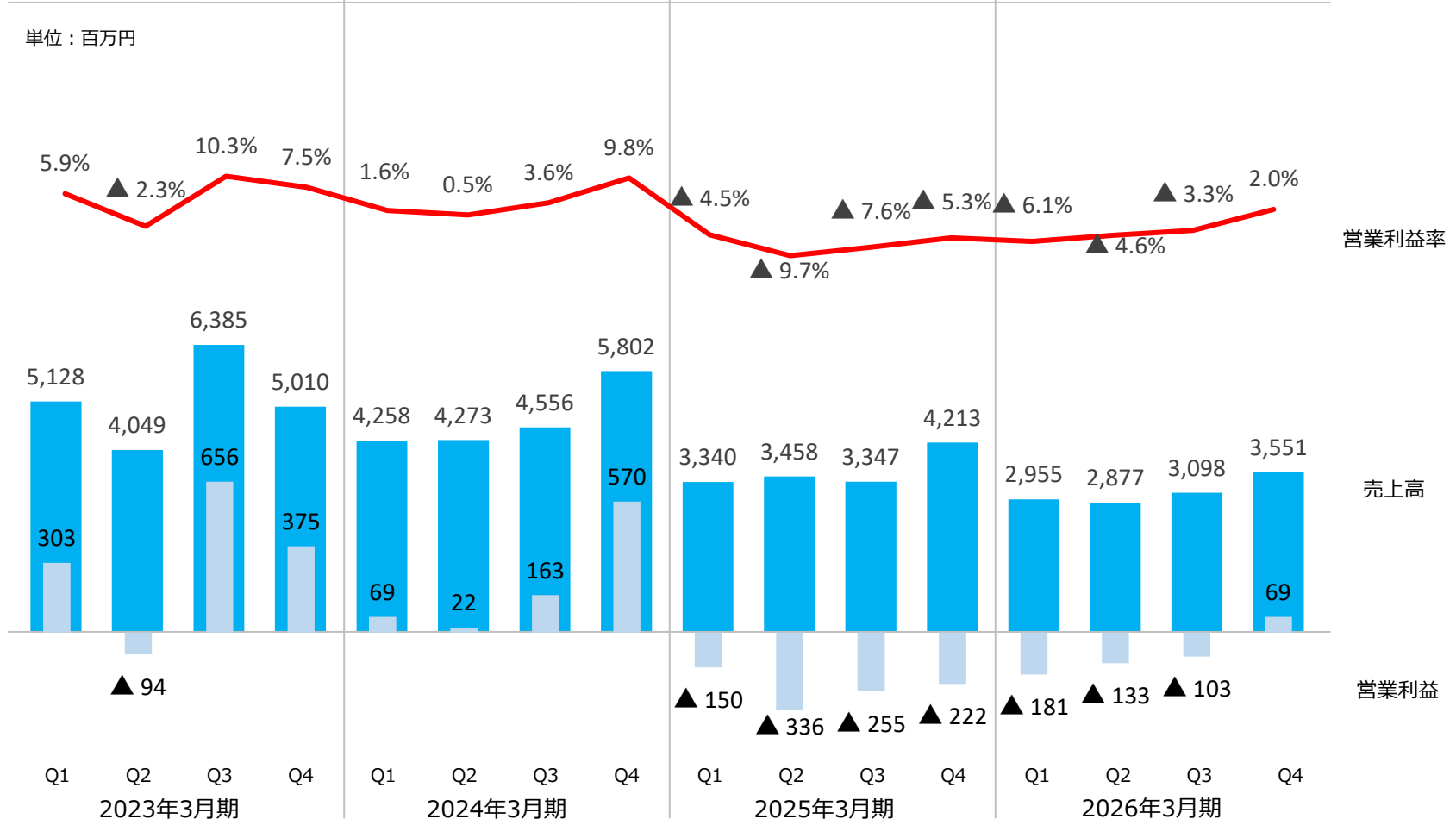
※2024年3月期より、欧州セグメントに含まれていたGeiger USAを北南米セグメントに変更しています。

セグメント別四半期業績推移

<中国>



売上高	20,572百万円	売上高	18,888百万円	売上高	14,358百万円	売上高	12,481百万円
営業利益	1,240百万円	営業利益	824百万円	営業利益	▲963百万円	営業利益	▲348百万円
営業利益率	6.0%	営業利益率	4.4%	営業利益率	▲6.7%	営業利益率	▲2.8%

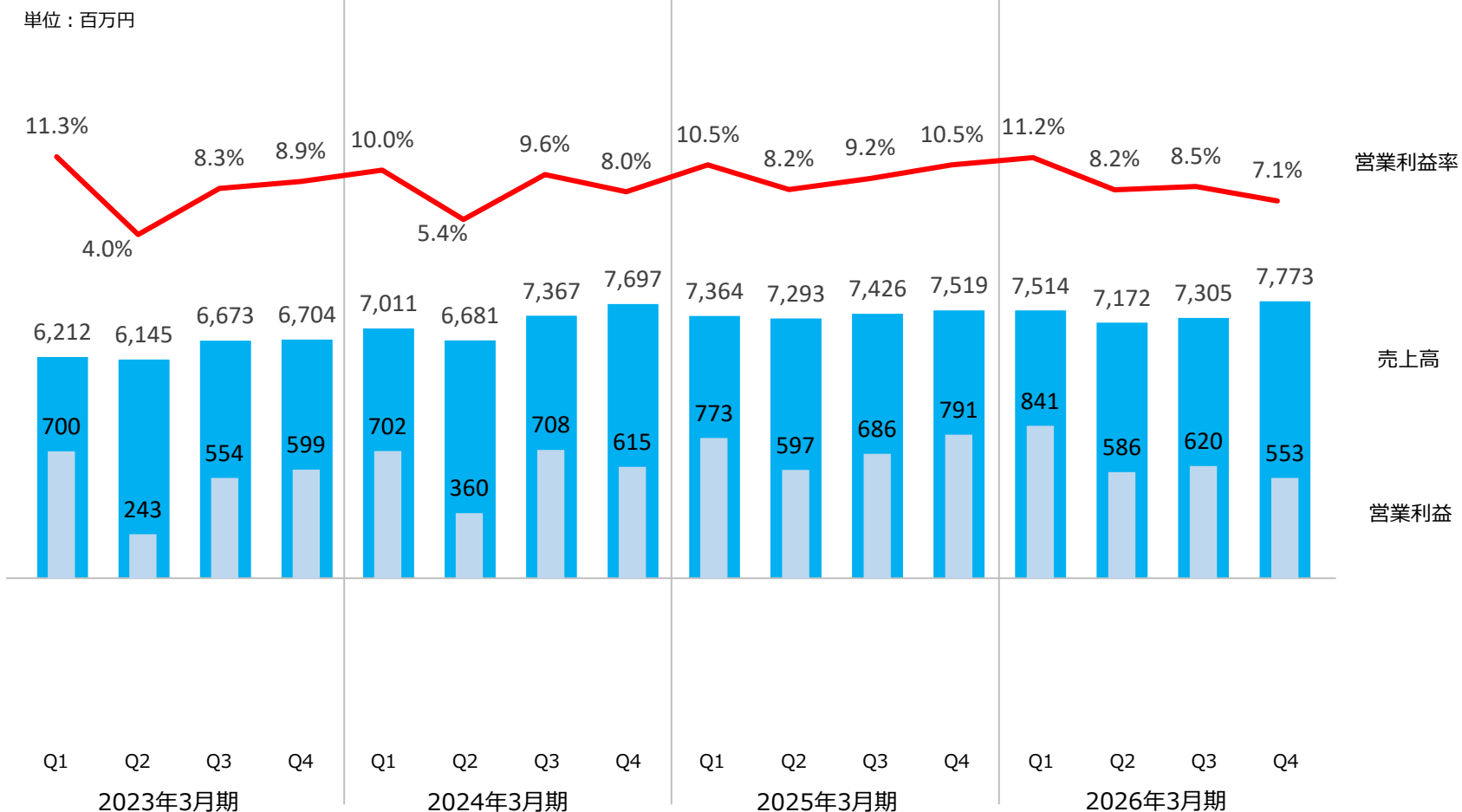


セグメント別四半期業績推移

<アジア>



売上高	25,735百万円	売上高	28,756百万円	売上高	29,601百万円	売上高	29,763百万円
営業利益	2,096百万円	営業利益	2,384百万円	営業利益	2,847百万円	営業利益	2,599百万円
営業利益率	8.1%	営業利益率	8.3%	営業利益率	9.6%	営業利益率	8.7%



このプレゼンテーションで述べられている三櫻工業株式会社の業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向、新たな技術の進展等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。